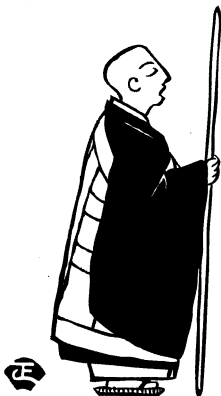




# 杖 拄 十事 房 禅



画：正親里紗

館 隆 志

今回は「禅房十事」の中から、三番目に取り上げられている「拄杖」を紹介します。体を支える杖のことで、「しゅじょう」と読んでいます。

禅僧はさまざまな師匠に学ぶために自由に行脚あんぎやしました。そのさまは「行雲流水こううんりゅうすい」と、雲や水に例えられました。そのことから、修行僧を「雲水うんすい」といい、修行僧が集まる僧堂の別名を「雲堂うんどう」というのです。

たとえば、京都にはたくさん有名な禅寺がありますが、禅の師匠は京都にだけいるわけではありません。

当時の禅僧たちは、あるいは中国に留学し、あるいは日本各地に禅の師匠を求めました。簡単に中国に留学するといっても、飛行機も新幹線もないのですから現代と同じようにはいきません。険しい道を博多まで行き、商船の港への到着と良い季節風を待つて船に乗り、中国に向けて出発するわけです。もちろん、当時の船は安全な航海が保証されるような頑強な船ではありませんから、本当

に命がけの留学でした。さらに無事に中国に到着しても、修行先の禅寺まで長い道のりが待っているのです。

しかも、当時は現在のように道が整備されていませんから、雲水は険しい道を歩いて各地に行脚しました。その時の手助けとして用いられたのが「拄杖」です。

建仁寺開山の栄西禅師は、中国に留学し、中国の禅の師匠である虚庵懐徹禅師から袈裟を伝えられ、拄杖・応量器おうりょうきなどの禅僧の道具を授かっています。したがって、鎌倉時代に禅が日本に入ってきた当初から、拄杖が禅僧の道具として伝えられたことになりました。

「拄杖」と似たような道具に「錫杖」があります。ジャラジャラと音を鳴らす金属製の法具が先端に付いている杖です。修行僧は長い時間を掛けて険しい道を進み、辿り着いた禅寺に「錫杖」を掛けて留めるのですが、それで禅寺に入門することを「掛錫」「留錫」といいます。

「錫杖」とは異なり、禅寺において、「拄杖」

には別に重要な役割がありました。本誌の五月号で「禅椅」を紹介しましたが、その際、須弥壇の上に禅椅を置いて坐禅し説法するという話をしました。この説法の際に使用したのが拄杖です。手に「つえ」を持って、自在に操りながら説法したのです。ですから、「拄杖」は住持（住職）の説法の道具といえるでしょう。

現在は、臨済宗の一部の修行道場では、托鉢に際して先頭の和尚さんが拄杖を持って先導していることがあります。修行道場の近くにお住まいの方は、托鉢して歩く先頭の和尚さんに注目してください。行脚に際して用いられていたという行為に近い使用方法かと思われまます。

曹洞宗では、正式に住持として入山する晋山という儀式の際に拄杖を持って上殿し、須弥壇に上がって拄杖を手にして法語を述べます。この儀式は臨済宗でも行われています。現在では儀礼の道具としての意味合いの方が強いかもしれませんが。



『無門関』という公案集があります。無門慧開禪師という南宋時代の僧侶が撰述したもので、中国に留学してその法を嗣いだ日本僧の心地覚心禪師によって請来されました。覚心禪師は由良（和歌山県）の興国寺の開山で、鎌倉中期から後期にかけて活躍された臨済宗の僧侶です。また、『無門関』は現在、公案集として臨済宗の修行道場で広く用いられています。

その『無門関』四十四則に「芭蕉拄杖」という公案が収録されています。芭蕉というのは、芭蕉慧清禪師という新羅国（韓国）出身の唐の時代の和尚さんです。芭蕉禪師があるとき修行僧に向かって、「君が拄杖を持ってゐるなら、我は君に拄杖を与えよう。君が拄杖を持ってゐないなら、我は君から拄杖を奪おう」と述べたのです。

持っているなら与える、持っていないなら奪う。芭蕉禪師は修行僧に何かを気づかせようとしているのでしょうか。一見矛盾しているように見えますが、もし矛盾してはいないとしたら

らどうでしょうか。拄杖は何か例えられているのでしょうか。それは一体何でしょうか。皆さんそれぞれが、頭の中で、心の中で、あれこれと悩み考えてみてください。難しいですよ。でも、解らなくても気にしないでください。これは禅問答なのです。もし気になるなら、近所の和尚さんに尋ねてみてください。でも決して私には聞かないでください。ね。

仏教經典の中に登場する拄杖は、まさに「つえ」そのものでした。その「拄杖」が禅宗では、雲水の行脚の道具となり、住持の説法に欠かせない道具となり、公案の題材ともなり、ついには「禅房十事」の一つに数えられるまでになったのです。

館隆志（たちりゅうし）

一九七六年静岡県沼津市生まれ。二〇〇九年駒澤大学大学院博士課程修了、博士（仏教学）。現在花園大学国際禅学研究所研究員。著書に『園城寺公胤の研究』（春秋社）、『蘭溪道隆禪師全集』第一巻（共編、思文閣出版）。